

高等教育研究開発センター 2025 年度活動報告

1. 2025 年度の重点事業・活動

下表の 8 項目を年度始めに重点事業・活動としてあげ（(1) から (3) は特に重点としていた）、それぞれについて表右列のように取り組みました。

年度始めに重点にあげたもの	今年度の取り組み
(1) 「大阪公立大学学生・院生・卒業生・修了生および教員調査の実施計画（2022 年度策定）」の変更とそれに基づく調査の実施（文部科学省の学生調査への対応を含む）	2030 年度までの「大阪公立大学学生・院生・卒業生・修了生および教員調査の実施計画」を策定し、教育推進本部会議で承認された。またそれに従い今年度は、学士課程 2 年生調査、卒業年次生調査と大学院生調査を実施した。2 年生調査と大学院生調査については、基礎集計の速報値をセンター会議と教育改革委員会に報告した。
(2) OMU 指標の各部局での教育学修成果・カリキュラム点検等への活用に向けた、現時点で可能な形でのデータ提供と、DX 推進課等と連携した学内でのシステム化の検討推進。	DX 推進課と連携し、教務データから OMU 指標を計算・可視化するためのツールの開発を行い、引き続き学内での OMU 指標活用について検討を行った。（※以下 3 月予定）また教育改革委員会のもと、各部局の教育カリキュラムにもとづく OMU 指標をフィードバックする WG を設置した。
(3) 産学連携教育イノベーター育成プログラム事業における汎用的教育実践力科目開発と提供	7 月末よりプログラムが開始され、10 月に「授業デザイン演習 1、2」の 2 科目を実施した。1 月実施の「教育イノベーター実践演習科目」にも協力した。また、今年度のプログラム終了後、来年度に向け、プログラム内容の一部改訂を行った。
(4) 本学の状況やニーズに沿った、多様で多層的な全学 FD 事業の企画・推進と部局 FD 支援	下記第 3 節に記載の通り、全学 FD（FD・SD）を企画実施するとともに、部局 FD への協力も行った。
(5) ChatGPT 等生成 AI 普及の教育・学修への影響や関わり方、教育のあり方の検討と開発	全学 FD のテーマに 2 回取り上げた他、学生調査の一環として学生の利用状況の調査を行った。また、「生成 AI の利活用に関する学生向けガイドライン」および「生成 AI の利活用に関する教員向けガイドライン」の改訂も行った。
(6) 複数キャンパスの多様な学生に向けた学修支援の開発および普及に関する活動支援	森之宮キャンパスに拠点を置きつつ、杉本と中百舌鳥を中心に全キャンパスで学ぶ学生向けの学修支援活動を行う教育学修支援

	室学修支援部門の活動に協力した
(7) 本学の全学および各部局・学位プログラムにおける教育改善・FD の推進・支援と内部質保証システムの構築・推進支援 (含、部局の教育に関するヒアリング結果も踏まえた検討および自己点検・評価の推進支援)	教育推進本部と教育改革委員会を中心に実施された教育に関する自己点検の実施準備に協力した他、自己点検結果を踏まえた FD 事業も実施した。

2. 大学教育・高等教育に関する研究、調査、提言

2. 1. 大学教育のあり方に関する研究

学士課程および大学院教育の授業提供やカリキュラム運営への協力を通じて、大学教育のあり方に関する実践研究を継続しています。また、各研究員が関連する共同研究（科研費）や学会課題研究にも取り組んでいます。

- ・令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (一般)「大学の「学園」としての「場」の学生における価値とその形成に関する実証的探索的研究」(研究代表者：飯吉弘子、研究分担者：西垣順子、平知宏、橋本智也、深野政之、外尾安由子、課題番号：22K02721)
- ・「教育現場における学修・学生生活評価の実態と影響―生徒・学生の発達保障から考える―」、『現代社会と大学評価第21号(大学評価の「これまで」と「これから」―この20年間を振り返る―)』(2026/03/30)、著者：西垣順子・川地亜弥子・中山弘之

2. 2. 教育改善・FD および大学教育の評価・内部質保証に関する研究

大阪公立大学および大阪市立大学における学生調査をはじめとする学生の学習成果関連のデータを分析し、結果を共有するFD企画を開催しました。具体的には第3項を参照してください。また、学生による大学評価参画を見込んだ教育実践の開発と効果検証にも取り組んでいます。

- ・「OCU 指標の示す学修成果：学修の観点をつなぐ橋渡しとしての役割」、『大阪公立大学大学教育 第4巻』(2026/3/31 発行、pp.17-27.) 著者：平知宏

2. 3. カリキュラム・教育方法・学修支援の開発に関する研究

全学生必修・学部混合型の初年次教育科目である初年次ゼミナールの効果検証に、研究視点からも協力しています。その成果を論文にまとめました。また、2026年度より新しい形態で実施されることが決まっている初年次ゼミナールのための手引きの作成や、OMU ラーニングセンターによる動画教材の提供にも協力しました。

- ・「初年次教育科目「初年次ゼミナール」の目的と到達目標の達成状況を検証する：開学から4年間の整理と2026年度の実施形態変更に向けた参照基準の提示」、『大阪公立大学大学教育 第4巻』(2026/3/31 発行、pp.28-35.) 著者：橋本智也

3. FD (Faculty Development) 事業

3. 1. センター主催の全学 FD 事業 (特記のない場合はオンライン開催)

名称	内容	年月日
新任教員 FD 研修	Zoom によるオンライン研修（同期型） センター長からの挨拶…飯吉 講義「授業を育てる」…星野 司会…深野 オンデマンド研修 「本学の教育と FD」…西垣、橋本 「授業における ICT の活用について」…小島 「データで深める本学の学生についての理解」…畑野 「本学における修学上の合理的配慮の提供について」… 松原めぐみ（アクセシビリティセンター） <参考>「大阪公立大学の歴史について」…飯吉、山東 功（現代システム科学研究科）	4月2日水曜日 13:30~15:00
全学 FD セ ミナー	「そのレポート、AI 製? Moodle で始める AI ライティ ング対応」 主催：高等教育研究開発センター、教育学修支援室教 育支援系システム部門 講座1「学生の生成 AI 利用状況と、生成 AI への本学 の対応について」…星野 講座2「Feedback Studio AI ライティング検知機能の紹 介」…新津亮、田中大智（Turnitin 社） 司会…星野	4月25日金曜日 15:00~16:00
第6回大学 教育研究セ ミナー	「大阪公立大学で学生はどう学んでいるのか～学生調 査結果から見える学修状況～」 共催：教育改革委員会、教育推進本部 報告1「追跡的観点から見た大阪公立大学生の学び」…平 報告2「大阪公立大学の学生は学習に生成 AI ツールをど のように利用しているか」…橋本 質疑応答 司会…西垣	7月2日水曜日 13:30~14:45
工学 FD セ ミナー/全学 FD セミナー	「研究室等におけるハラスメント事例とその対策—工 学分野や理系分野を中心に—」 主催：工学部・工学研究科教務委員会、高等教育研究 開発センター 共催：人権問題研究センター、ハラスメント相談室 講演「研究室等におけるハラスメント事例とその対策 —工学分野や理系分野を中心に—」…横山美栄子（広 島大学名誉教授、同広島大学ハラスメント相談室非常	8月25日月曜日 13:15~14:45

	勤相談員) 質疑応答 閉会挨拶・・・飯吉	
第4回教育改革フォーラム	講演「生成 AI 時代のレポート課題を考える」・・・成瀬尚志 (大阪成蹊大学准教授) 共催：教育改革委員会、教育推進本部 第1部質疑応答、第2部質疑応答 司会・・・橋本、 閉会挨拶・・・飯吉	10月20日 月曜日 13:15～15:15
授業デザイン研修 I	「1回の授業をデザインするための基礎」 ミニ講義1「授業の目的と達成目標」・・・畑野 ミニ講義2「アクティブ・ラーニング」・・・畑野 ミニ講義3「授業のフレームワークを作る」・・・星野 ワーク・発表	10月24日 金曜日 13:00～17:30
第4回 FD 研究会	「各学位プログラムにおける学生の学修状況・学修成果の評価」 主催：高等教育研究開発センター、教育学修支援室学修支援部門 共催：教育改革委員会、教育推進本部 報告1「農学部・研究科における学生の学修状況・学修成果の評価」・・・片岡道彦 (農学研究科) 報告2「“学び”と“成長”をつなぐリハビリテーション教育プラットフォーム」・・・横井賀津志 (リハビリテーション学研究科) 報告3「生活科学部・研究科における FD 活動～主に食栄養学分野の取組について」・・・福村智恵 (生活科学研究科) パネルディスカッション 司会・・・西垣	12月15日 月曜日 15:00～16:40
授業デザイン研修 II	「授業科目全体をデザインするための基礎」 ミニ講義1「授業の目的と達成目標」・・・畑野 ミニ講義2「授業計画」・・・星野 ミニ講義3「成績評価」・・・畑野 ワーク・発表	12月19日 金曜日 13:00～17:00
全学 FD・第3回高大接続セミナー	「『地理総合』が拓く大学の新たな学びの可能性」 共催：教育改革委員会、教職センター 講演1・・・森田育志 (国際基幹教育機構教職センター講師) 講演2・・・伊藤啓之 (宮城県仙台第三高等学校教諭) 質疑応答 司会・・・飯吉	2月20日 金曜日 10:45～12:30

3. 2. センターが共催した全学FD

名称	内容	年月日
内部質保証 スタートア ップ支援事 業成果報告 会	主催：教育推進本部 趣旨説明・・・高橋哲也（理事・副学長） 事例報告1「アセスメントテスト GPS-Academic による 問題解決力の測定」・・・山田宏之（農学部） 事例報告2「看護実践能力の担保を目指す OSCE の試 験的運用とその評価」・・・松田光信（看護学部） 司会・・・飯吉	4月17日木曜日 15：00～16：00
第2回初年 次ゼミナ ール実践事例 共有会	主催：国際基幹教育機構 企画：高等教育研究開発セ ンター 共催：教育改革委員会 講演1「“男と女、どっちが得？”のジェンダー論」・・・ 高知恵（看護学研究科） 講演2「生活困窮から考える日本の社会福祉」・・・垣田 裕介（生活科学研究科） 説明「2026年度以降の初年次ゼミナールについて」・・・ 松原浩（教育担当副学長・国際基幹教育機構長） 質疑・全体討論 司会・・・西垣	11月5日水曜日 13：15～14：45
2025年度 FD/SD研修	主催：アクセシビリティセンター、アクセシビリティ 支援委員会 共催：高等教育研究開発センター、人権問題研究セン ター、教育改革委員会、ダイバーシティ推進会議 講演： 松波めぐみ「権利保障としての合理的配慮～『社会モ デル』をベースに、誰も排除しないキャンパスへ～」	2026年3月10日 (火) 13：15～ 14:45

3. 3. 部局FDおよび部局プロジェクトへの参画・支援

部局・事業等	内容	年月日
文学研究科大学教育授 業実習制度	事前研修、実習見学・指導、大学論・FD論 検収、事後検収（飯吉）	2025年10月20 日～2026年3月4 日
商学部公共経営ワーク ショップ授業	「朗読劇」実施回への参加・コメント（飯 吉・平・橋本・西垣）	2026年2月2日
経済学部FDセミナー	Moodle利用法講習（星野）	2026年3月6日
J-PEAKS地域課題解決 のための共創プラットフォーム	シンポジウムでコメント	2026年3月9日

フォーム形成		
医学部医学科教育点検 評価委員会	委員として参画（飯吉）	2026年3月26日

3. 4. 出版物の発行

名称	内容	年月日
「大学教育だより」第4号	・法学部と現代システム科学域の学生交流と座談会、学部学域・研究科・国際基幹教育機構の教育・FD紹介、OMUラーニングセンター（教育学修支援室学修支援部門）の支援内容や自主学修教材の紹介、高等教育研究開発センターが実施する全学FDの推進・支援の紹介 ・編集委員会は、橋本（委員長）、飯吉、深野、永井、小島	2026/03/31
「アンロゾ」第4号	・理系・文系教員による「大学で学ぶ意義やおもしろさ」の紹介 ・編集委員会は、橋本（委員長）、飯吉、深野	2026/03/31
研究紀要「大阪公立大学大学教育」第4巻	・原著論文、報告論文、全学FD報告、「教育の広場」などを掲載 ・編集委員会は、西垣（委員長）、橋本、平、深野、森岡、北村、水野、大西	2026/03/31

4. 大阪公立大学の教育の評価、内部質保証の支援

4. 1. 学生調査の実施

校内での学生調査の実施は項目1の表を参照。また、大学IRコンソーシアムに参画し、今後の学生調査のあり方、加盟大学間の連携推進や情報共有、調査結果の活用方法についての検討に協力しています。

4. 2. 学習ポートフォリオの開発・運用等への協力

大阪公立大学で運用しているeポートフォリオ「ていら・みす」およびLMSであるMoodleの開発や運用を行う教育学修支援室に協力している他、「eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム」にも参画しています。9月19日には第5回フォーラムが、西南学院大学とZoomによるオンライン併用で開催されました。

4. 3. 大阪公立大学の自己点検評価への協力

2025年度は全学的に自己点検が行われ、教育に関する自己点検の実施要領づくりに協力をしました。また国際基幹教育機構の自己点検には、機構内教育改革委員会のメンバーとして参画しました。

5. 教育方法の開発、教育・学修支援

教育学修支援室の学修支援部門（OMU ラーニングセンターの運営および学生 FD の支援を実施）、教育支援システム部門（Moodle やていら・みすの運用）の活動に、研究員がそれぞれ参画しています。全学や部局の FD では、教育方法開発等に関連する企画も実施している（項目 2 を参照）他、教育実践事例 web データベースの運用も行っています。

また、初年次教育科目委員会に専任研究員が参加しており、初年次ゼミナールの受講生と担当教員に対するアンケート結果の分析を行うとともに、新年度科目担当者への説明会の実施や手引きの作成にも協力しました。

6. 研究員の学内全学プロジェクトなどへの参画

大阪公立大学で行われている教育に関する全学プロジェクトや各種センター等の活動に、専任研究員が参画・協力しています。2025 年度は次のようなものがありました。

教育学修支援室副室長 飯吉

教育学修支援室運営委員会 飯吉、星野（教育支援系システム部門部門長）、西垣（学修支援部門部門長）

教育学修支援室学修支援部門会議 飯吉、西垣、平、橋本、深野

教育学修支援室教育支援系システム部門会議 星野、飯吉

アドミッションセンター 平

地域連携副専攻委員会および地域連携副専攻プロジェクトチームへの参加 平

グローバル・コミュニケーションコースワーキンググループ委員 平

女性研究者支援室プロモーションメンタープログラムメンター 飯吉

7. 専任研究員の学内委員会活動など

7. 1. 全学委員会委員等

<大阪公立大学>

教育改革委員会 飯吉（副委員長）、星野、西垣

大学評価委員会 西垣 教員自己点検評価委員会委員 西垣

授業評価アンケート審査会委員 星野、西垣

女性研究者支援室運営委員会委員・RESPECT 選考委員 西垣

アドミッションセンター兼任研究員 平 大学史資料室運営委員会 飯吉

情報システム委員会委員 星野 情報セキュリティ推進者 星野

ハラスメント調査委員会 橋本

<大阪市立大学>

教育推進本部会議 飯吉

全学共通教育教務委員会 西垣

7. 2. 国際基幹教育機構に関連する委員会

国際基幹教育機構教授会および研究院会議委員 飯吉、星野、西垣

国際基幹教育研究院運営委員会 飯吉

教員所属グループ長連絡会議 飯吉

国際基幹教育機構科目運営委員会(旧、全体委員会) 飯吉、西垣、深野
初年次教育科目委員会 西垣(正マネージャー)、深野(副マネージャー)
物理科目委員会 星野 大学院共通教育科目委員会 飯吉(正マネージャー)
機構内教育改革委員会 西垣(委員長)、深野、橋本、平、畑野
高等教育推進機構教育運営委員会 深野

8. 学外の高等教育の推進・充実に係る団体や学協会等の活動への参画・協力

<委員等>

大学 IR コンソーシアム 星野(代表者)、平(調査・活用部会)、橋本(広報・WS 部会副
部会長)

大学コンソーシアム大阪高大連携部会 平

eポートフォリオによる学習成果の可視化コンソーシアム 星野(運営委員会委員)

産学連携教育イノベーター育成プログラム 星野(講師)

名古屋大学高等教育研究センター「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」運営委員会委員 飯
吉

大学教育学会 飯吉(理事・代議員、学会奨励賞選考委員(～2025年6月)、50周年記念事
業実行委員会委員 兼 事典編纂ワーキンググループメンバー、大会・集会企画委員会副委員
長(課題研究集会担当)(2025年11月～)、)

日本高等教育学会 飯吉(課題研究委員会委員)(2025年6月～)

大学評価学会 西垣(共同代表理事)、深野(理事)

大学評価コンソーシアム 橋本(幹事)

高等教育質保証学会 橋本(評議員)

<講演等>

・三谷商事 Web セミナー「教育の質の保証、学修の可視化・改善、最前線！」(7月11日)

星野

・Turnitin 主催 カスタマー・ラウンドテーブル「教育と研究の未来を拓く:生成 AI 時代のイ
ノベーションとインテグリティ」(9月11日) 星野

・横浜市立大学 FD/SD 研修「学生に共通体験を与える初年次教育」(11月6日) 深野

・岐阜市立女子短期大学 FD 研修「生成 AI 時代の大学教育：学生の『学びのリテラシー』の
変化から課題・評価を考える」(3月4日) 橋本

9. 専任研究員による高等教育に関する研究活動(執筆、共同研究など)

<研究資金獲得>

・飯吉弘子 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(一
般)「大学の「学園」としての「場」の学生における価値とその形成に関する実証的探索的研
究」(研究代表者:飯吉弘子、研究分担者:西垣順子、平知宏、橋本智也、深野政之、外
尾安由子、課題番号:22K02721)

・平知宏 令和5年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(一

般)「大学での学習態度形成プロセスの探索的研究：高大接続の観点から」(課題番号：23K02508)

- ・橋本智也 令和6年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(一般)「理論・実践の融合とデータ活用による初年次教育：授業レベルでの学習評価の枠組み開発」(課題番号：24K06088)

<ランドテーブル・課題研究等>

- ・西垣順子・川地亜弥子・中山弘之(2026)「教育現場における学修・学生生活評価の実態と影響―生徒・学生の発達保障から考える―」,『現代社会と大学評価』第21号, pp.60-69.
- ・深野政之・小山悦司・亀倉正彦・塩沢一平・井上美香子・中島夏子(2025)「一般教育の知的遺産を活かす〔その16〕―主体的・対話的で深い学び―」,『大学教育学会誌』第47巻第2号, pp.168-173
- ・平工志穂・飯吉弘子・菅原慶子・小林勝法・出光直樹・北徹朗(2025)「大学におけるSDGs教育・学生生活・高大接続」,『大学教育学会誌』第47巻第2号, pp.210-215

<学会発表>

- ・西垣順子「大学の学生調査からみる理系女子学生の教育ニーズ：2010年代からの変化についての考察」,日本心理学会第89回大会(東北学院大学),2025年9月6日
- ・西垣順子・山口真紀・伊田勝憲「理工系分野における男女別の入試合格率・入学者の大学間差異」,大学評価学会第23回大会(立命館大学朱雀キャンパス),2026年3月8日

10. 専任研究員によるその他の研究活動(執筆、共同研究など)

<書籍>

- ・西垣順子・武井哲郎・伊田勝憲(2025)『地域がつくる子どもの居場所(サードプレイス)：不登校でも孤立しないまちづくり』,晃洋書房
- ・星野聡孝「学生の学びと気づきを支援するeポートフォリオによる学習評価の可視化」,『看護教育』,第66巻5号, pp.566-571.

<学会誌特集号責任編集と巻頭言>

- ・西垣順子・五十嵐元子(2025)「ジェンダー視点から発達・発達支援を考える」,『発達心理学研究』,第36巻4号, pp.191-193.

<研究資金獲得>

- ・西垣順子 「「子ども・若者の育ちの場」が地域と共に育つための評価方法の開発」,(NPO法人『碧いびわ湖』からの受託研究) <休眠預金活用事業「すべての子どもの育ちを保障する地域総動」(2022年度第1回通常枠にて採択)の一環>

<学会発表>

11. 専任研究員によるその他の活動（他大学の外部委員、学会の役員など）

日本心理学会 西垣（男女共同参画委員会委員、代議員）

日本認知科学会 平（編集委員）（～2025年5月）

人間発達研究所紀要編集委員会委員 西垣

高等教育研究開発センタースタッフと運営体制

（2025年4月1日～2026年3月31日）

専任研究員

飯吉 弘子（高等教育研究開発センター センター長／国際基幹教育機構教授）

星野 聡孝（高等教育研究開発センター 副センター長／国際基幹教育機構教授）

西垣 順子（国際基幹教育機構教授） 平 知宏（国際基幹教育機構准教授）

橋本 智也（国際基幹教育機構准教授） 深野 政之（国際基幹教育機構准教授）

兼任研究員

清原 文代（国際基幹教育機構教授） 福島 祥行（国際基幹教育機構教授）

池田 文人（国際基幹教育機構准教授）

森岡 次郎（現代システム科学研究科准教授）

北村 昌史（文学研究科教授） 永井 史男（法学研究科教授）

鈴木 洋太郎（経営学研究科教授） 彭 浩（経済学研究科教授）

小島 篤博（情報学研究科准教授） 大西 克実（情報学研究科准教授）

水野 寿朗（理学研究科講師） 谷口与史也（工学研究科教授）

平井 規央（農学研究科教授） 東 泰孝（獣医学研究科教授）

金子 幸弘（医学研究科教授）

客員研究員

青木 豊彦（客員教授・株式会社アオキ取締役会長）

佐々木洋子（客員研究員・和歌山県立医科大学）

研究補助 木村千紗（杉本キャンパス）

事務局（教育推進課国際基幹教育機構担当）

浅野 健 豊田 純子（10月から） 高島 陸

大谷 敏恵（9月まで） 古谷 智美（中百舌鳥キャンパス→森之宮キャンパス）

木下 祐吏（中百舌鳥キャンパス）

谷口 亜紀（中百舌鳥キャンパス）